



「ふれあい祭り実行委員会」メンバー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三世代交流イベント「ふれあい祭り」は2年続けて実施を見送ってきました。しかし、今年度は「コロナ禍でも、感染対策をとりながら安心・安全にでき

新企画!  
なかてはら  
ふれあい  
ウォークラリー

仲手原ふれあい祭り実行委員会



第61号

発行  
仲手原自治会

る内容や方法を考えよう」ということで、仲手原ふれあい祭り実行委員会で検討がなされました。これまでの「ふれあい祭り」に代わり、新たな試みとして「なかてはら ふれあいウォークラリー」(開催予定日5月14日)を開催することとしました。

三世代交流(家族や地域内のコミュニケーション)を目的に開催しますが、健康づくりとあわせ、防災の視点から仲手原の町を知ることを目指しています。

概要は「スタート地点で配布された地図を手掛かりにしながら、仲手原自治会エリア内を歩いてまわる」というものです。途中、チェックポイントが設けられており、スタンプを押してもらいます。そのチェックポイントは、災害時に使用するスタンドパイプ式初期消火器具の設置場所となっています。また、子ども達にも積極的に参加してもらえらるように、クイズやゲーム性を持たせた内容で「無事ク

# 令和4年度 役員改選案・新班長

令和4年度の役員改選案は左表の通り提出されており、書面表決により決定される予定です。

令和4年度役員改選案	
会長	齊藤 眞幾男
副会長	村野 明美
会計部長	堀内 由理
業務部長	江村 清
広報部長	押尾 泰典
防災部長	久保寺 功
防犯部長	久保寺 功
企画部長	小松 眞一
総務部長	築地 美恵子
厚生部長	和田 恵美子
庶務部長	阿部 ふさな
会計監査	岡田 二郎・柚木 勇

また、自治会執行部から4月1日付けで新班長・委員の発表がありました。各委員名簿および詳細に関しては本号と同時に皆さんへ配布しました「令和4年度仲手原自治会定期総会議案書」4頁の「報告」を参照してください。

令和4年度 班長	
1丁目	2丁目
1班 石川 淳	1班 竹内 愛理
2班 山縣 俊平	2班 山井 雅文
3班 川合美和子	3班 相原 史子
4班 清見 洋子	4班 佐藤 三千雄
5班 長谷川由香	5班 和田恵美子
6班 田村 良子	6班 飛田 友宏
7班 堂前一樹	7班 鈴木千江子
8班 神田 順	8班 加藤 道子
9班 柴田 清	9班 明星 圭介
10班 菅原 文仁	
11班 西宮 千春	
12班 伊藤剛・規子	

イズに正解したり、ゴールできた参加者には、素敵な記念品が待っている」というお楽しみ付きの企画です。



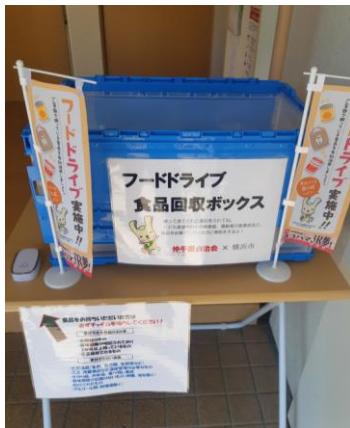
チェックポイントの目印はこれ!!

ウォークラリーはおよそ1時間

程度の距離です。楽しみながら、健康づくりをしてもらえたらと思います。皆さんに楽しく参加してもらえらるよう実行委員会のメンバーが一丸となり、準備を進めています。これまでのふれあい祭りとは違った形ですが、自治会の皆様の三世代交流の機会となれば幸いです。



横浜市内の家庭ごみの中には、食品ロスと言われる何も手がつけられず廃棄された「手つかず食品」が年間2万トンも含まれているそうです。一方、新型コロナウイルスの影響を受け、仕事の休業や勤務日数の減少、失業等により生活にお困りの方が増えて、市内では「フードバンク」の食材が著しく不足しています。



仲手原自治会では、この食材を集めていく「フードドライブ」を始めました。初日の1月26日には、12人の皆様から計82点の食品の寄付があり、翌日に横浜市資源循環局に届けてまいりました。資源循

環局に集められた食品は、フードバンク団体及び社会福祉協議会を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に寄贈されます。



これからも毎月第2・第4水曜日には自治会館内にフードボックスを設置して、皆様からのご寄付をお待ちしています。「食品ロスの削減」と「食の支援」にご協力をお願いいたします。

確認してほしいこと3か条！  
未開封のもの  
(外装が破損していないもの)  
賞味期限が2か月以上あるもの  
常温保存できるもの  
例えばこんな食品！  
穀物(お米、小麦粉等)、缶詰、  
インスタント・レトルト食品、  
お菓子、調味料、乾物、  
飲料(酒類は除く)



昭和41年、現在のセブンイレブン妙蓮寺駅前店の裏にある踏切から駅の方向を撮ったのがセピアの写真です。



当時の駅舎は鉄骨木造でした。改札口は上り線側(西口)にしかなく、下り線ホームには駅構内の踏切を渡って行きます。下りホー

ムの手前にある小屋に「踏切番」と呼ばれる職員がいて、駅前踏切と駅構内踏切の遮断機を手動で上げ下げしていました。小屋の床に立っている棒を職員が操作すると、床下や線路脇に設置してある複数の滑車と数本のワイヤが複雑に動き、遮断機が上下します。滑車やワイヤの動きが面白くて、電車が来るのをじっと待っていた思い出があります。この写真を撮影している踏切には遮断機がありませんでした。



っていました。

上り線路に沿って線路の分岐が見えます。当時、大雨が降ると菊名駅構内線路が度々水没しました。そのようなときは、桜木町・妙蓮寺間の折り返し運転になり、駅に入った上り電車はこの分岐を使って下り線へ入り、桜木町方向へ戻

写真・文 押尾泰典





フランス ローワール地方古城巡り  
(シャンボール城 2019. 8)



『樹を植えるのに、ベストのタイミングは20年前であり、その次にベストのタイミングは今日である』これは中国の格言ですが、私はこの言葉が気に入っています。

これから始まる未来、世界は子ども達が活躍する舞台へと変わっていくと思います。子育てに関して私が重視しているのはグローバル思考とボランティア精神を持った大人になってほしいということです。これまで娘を連れて欧米を中心に数十カ国を歩いてきました。様々な国に広がっている景色や文化、言語や芸術に小さいうちから触れさせてきました。特にルーマニアやアルバニア、ボスニアヘルツェゴビナ等の中東欧諸国を歩い

た時は親子共に大きな刺激を受けました。世界各地の歴史や習慣を学ぶことは大人になった時大きな意味を持つことになると私は確信しています。世界から見た日本、世界から見た日本人の自分、早い段階からそういう視点を身につけてもらえるよう教育しています。

私達大人がそうであるように、実際本当の勉強というのは社会に出てから始まりますが、そのための学び方を学ぶ土台を作るのに子どもに本物の世界を歩かせるのは最適であると思っています。

### 娘

が小学3年生となった昨年春からは地域の公園清掃ボランティア活動に親子で参加しています。第1・第3日曜日は仲手原二丁目公園・広場公園で、第2日曜日は菊名池公園で活動しており、もうすぐ1年が経ちます。

公園清掃をする事のメリットは幾つかありますが、その一つに自己完結力の強化が挙げられます。ボランティア活動全般に言えることですが、活動内容に正解はありませんし点数も付きません。季節や天候によって公園内の様子は全く異なっています。その日の現場の状況を見た娘は瞬時に自分の力



量と持ち時間を計算して作業に取りかかります。子どもにとつて絶対の教育の舞台となります。なぜ

なら自分でその日の課題を見つけて作業をして、答えを出して自分で採点するという事を自然と学ぶことが出来るからです。普段友達と遊んでいる公園を自ら清掃することを通して、物事を俯瞰的に見る力もついていくと思っています。

公園清掃は娘が中学上がるまであと3年は続けていく予定です。20年後、娘が桜の樹のように綺麗な花を咲かせてくれたら親として最高ですが、それよりも時代の荒波や社会の風雨に負けない強靱な根を地面に張っていてくれることを望んでいます。ボランティア活動はその根っこを作る大事な時間でもあります。子育てはどうしても近視眼的になりがちですが、樹を育てるように長期的な趨勢を意



識していきたいと思っています。最後にこの場を借りて期待を込めて書いてみます。3月現在、仲手原二丁目公園・広場公園も菊名池公園もボランティア活動に参加している小学生は娘しかいません。どちらも年配の方が中心となつて活動しています。日曜日の早朝から小学生や中学生が公園にぞろぞろと集まってきてボランティア活動をしている様子をイメージしてみてください。その光景を見た大人達の地域を見るパラダイムはきつと今より素晴らしく前向きなものになっていくと思うのは私だけでしょうか。

### 人生

を楽しむコツ。それは親が背中で教えることが出来れば、子どもにとつて最良の教育になるのだと思います。



2月27日(日)、町内3カ所でスタンドパイプ式初期消火器具を使用した放水訓練を、港北消防署篠原消防出張所の相澤所長立ち会いのもと実施いたしました。



取扱い説明(第2会場:妙蓮寺台公園側)

参加者は、最初に消火器具の取扱い説明を受けた後

- ① 消火栓を開閉する人
- ② 伝令役
- ③ 放水する人

の3人1チームに分かれ実地訓練を行いました。実際に経験しなければ分からない消火栓の蓋の重さや放水時の水圧などを体感できる

貴重な機会となりました。

仲手原自治会では、

スタンドパイプ式初期消火器具を町内13カ所に設置しています。地域で発生した火災の拡大を防ぐためにも、近隣の皆様による初期消火活動が大変重要になってきます。今後も定期的に訓練を行いますので、是非ご参加をお願いします。



放水訓練(第2会場:仲手原緑道側)



自治会では町内の子ども達の健全やかな成長を願って、民生・児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員、子ども会等の皆さんと共に様々な活動をしています。

今年も申請のあった小学校新一年生になる子ども達30名を対象に4月2日(土)18時より自治会館において「お祝い品」を贈呈することになり、保護者の方に連れられて子ども達が訪れていました。



お祝い品贈呈のようす

### 自治会だより

※ 行事予定は変更される可能性があります。その都度「回覧」等でお知らせします。

4月 新入学児童へ

お祝い品贈呈(2日)

自治会費集金

5月 「なかてはら」第61号発行

なてはらふれあいウォークラリー(14日)

自治会対抗

グラウンドゴルフ大会(22日)

老人会グラウンドゴルフ大会(25日)

自治会総会(書面開催表決)31日

6月 港北小学校

防災拠点訓練(未定)

8月 夏祭り(27・28日)

9月 3R夢施設見学会(未定)

### 子供会だより

単独行事

6月 子ども会対抗ユニホック大会(未定)

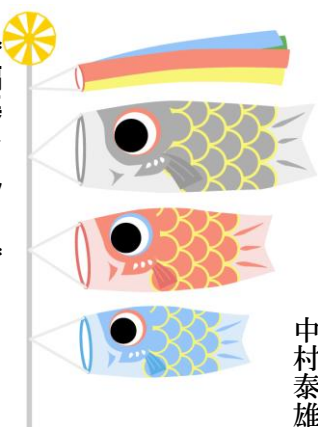
### 編集後記

仲手原自治会活動も5月の「なかてはら ふれあいウォークラリー」が開催なるなど少しずつ動き始めました。

従来、広報紙「なかてはら」は年3回発行してまいりましたが、この2年間は新型コロナウイルスの影響で年2回の発行になっております。しかし今年度は5月、10月そして来年1月と、従前の発行月を変更して年3回に戻します。

我々一同コロナに負けず益々充実した紙面作りに努力致す所存です。読者の皆様どうぞこれからも「なかてはら」をご愛読の程お願い申し上げます。

中村泰雄



### 編集スタッフ

植木幹造・押尾泰典・加藤篤志・芳賀宏江・宮田純子・山口美和

編集責任者・中村泰雄